

基礎情報			
事業名	学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業 ～教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～		事業総額 720,000 円
実施団体名	プラウド岡山		補助総額 576,000 円
協働担当課名	教育委員会事務局 指導課	人権推進課	女性が輝くまちづくり推進課
連携団体名	岡山大学病院ジェンダー クリニック受診者と家族の会	チャイルドライン岡山	よりそいホットライン 岡山大学医学部保健学科 (中塚研究室)

事業評価			
事業の目標 (提案書より抜粋)	主に学校現場で多様なセクシュアリティの共生を容認する雰囲気醸成されることを支援し多様性を認め合う社会の実現に寄与する。そのため、LGBT 当事者の現状・課題などについてわかりやすくまとめたパンフレットを作成して教職員への理解を促進するほか、困難を抱える児童・生徒やその保護者を対象としたサロン運営、啓発リーフレットやパネル展、アンケート報告会等を通じて一般市民への啓発につとめる。		
取り組み	現在(平成 28 年 9 月末)の状況	自己評価	課題がある場合、その対策
教職員向け パンフレット作成	<ul style="list-style-type: none"> ・10 月 17 日に試案が完成する。 ・LGBT の基礎情報については一般向けパンフレットと重なる内容とする。 ・当初、年度末(3 月頃)の完成を予定していたが、年度末は教職員の目に触れにくいという助言があったため年末(12 月頃)の発行を目指して準備を進める。 ・昨年度の調査報告書と同様に岡山市内をはじめ、倉敷市や岡山県内各所へ配布する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容についてはこれから検討する予定。 ・想定より順調に進行していたため、発行時期を早めることができた。 	当初は子どもとの向き合い方・相談への対処方法についても詳しく記載する予定だったが、画一的な対応が適当なケースばかりとは限らず、現場の教職員の経験や子どもとの関係性を尊重すべきであると判断したため、パンフレットで判断を「示唆する」のではなく、判断を「助ける」ための基本的な情報を拡充することとした。
サロン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり毎月 1 回開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は少ないが想定どおり。参加者が 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は想定内ではあるが、例えば、保

	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者と保護者の 1 組が継続して参加している。 ・夏休み期間中に 1 回だけ教職員を対象としたサロンを開催した。主に倉敷市内の小中学校から 20 名弱の参加があった。 8 月末(夏休み終わり)に教育委員会から各校へ再度通知している。 	<p>多ければよいとは考えていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方で子どもたちに気づいてもらうこと、利用してもらうことの難しさを感じている。これまでは問題を表面化させ、煽ってしまうことを恐れていたが、今後は子ども向け媒体の作成を検討したい。 ・倉敷市への波及効果は想定以上の成果として捉えている。 	<p>健室内(のみ)で掲示するとして、従来のチラシをポスターにして掲示してもらう、などの提案をしたい。</p>
一般市民向けリーフレットと展示用パネル作成	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート報告会に間に合わせる事ができた。 ・パンフレットはすでに 5000 部(1 万部印刷)程度を配布している。岡山大学の中塚先生の全面的な協力を得られたことで、わかりやすく正確な内容となった。 ・12 月に開催する「人権フェスティバル」でもパネルを展示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中塚先生と教育委員会の専門的な意見だけでなく、人権推進課や女性が輝くまちづくり推進課からそれぞれの立場での意見がもられたことでよりわかりやすい内容となっている。 ・専門家の監修も得られたため自信をもって公開できる。 ・岡山大学学生支援室経由で先生に伝わり、ぜひ授業に使わせてほしいとの依頼をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布するだけでなくどのように活用してもらうかを考え、提案していきたい。 ・今後は企業へも啓発を進めていきたいが、このパンフレットを配布するだけでは趣旨が伝わらないと思われるため、周知のために工夫したい。
アンケート報告会	<ul style="list-style-type: none"> ・10 月 2 日(日)に「さんかく岡山」にてアンケート報告会を実施した。 ・市内外の教職員を中心に約 40 名の参加が得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は教職員が 30 名、一般が 10 名ほどとなり、教職員の関心の高さが感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施していないため、評価が難しいが、後日、参加者からメールで感想が寄せられており、気づきや学びを与える内容となっていたことが伺えた。

協働評価

項目	自己評価	課題がある場合、その対策
----	------	--------------

<p>連絡・調整について それぞれが積極的に情報を公開・共有していますか？</p>	<p>実施団体と各担当課が日常的に電子メールによる報告・連絡を行っているほか、案件によっては実施団体が市役所に足を運び、対面で相談・協議を行っている。</p>	<p>問題なし。</p>
<p>協働効果について それぞれが役割を果たし、相乗効果が生まれていますか？</p>	<p>実施団体の専門性と市の機能が当初の想定どおりに発揮されており、協働でなければ生まれなかった成果につながっている。</p>	<p>問題なし。</p>
<p>関係性について それぞれが対等な関係のもとで事業が進められていますか？</p>	<p>対等な関係が構築・維持されている。</p>	<p>問題なし。</p>
<p>目的共有について 次年度以降の事業展開について協議・共有されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最終決定には至っていないが、教育委員会指導課が春から働きかけを行っていたこともあり、来年度は岡山市内の養護教員を対象として LGBT に関する研修が実施される見込みである。 ・上記の研修とは別に希望する学校にはプライド岡山の講師派遣による研修も可能であり、積極的に紹介していく(各学校の研修は研修主任が企画・提案して校長が承認する)。 ・本年度事業で基礎となる情報を収集・編集できたため、再来年度以降は必要に応じて企業など、教職員以外の対象に向けた資料、研修の企画につなげていく。 ・現時点では実施団体、市(各課)とも市民協働推進モデル事業の継続は考えていない。 	<p>問題なし。</p>

実務評価

項目	自己評価		問題がある場合、その対策
収入・支出に計画からの大きな	<input checked="" type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	色校正の都合からパンフレットの印刷・製本を地元事業者に発注したことで印刷・製本

変更は発生していませんか？			費が想定以上の金額となったため、教職員向けのパンフレットのデザイン費を抑えることで調整する。
収入・支出を記録するとともに 証明書類を保管していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
事業の成果が記録・整理され、 成果物が保管されていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	

その他

ESD・市民協働推進センターへの要望や
特記事項があればご記入ください。

中間評価は以上になります。ご協力ありがとうございました。